

小学校の部 優秀賞

四国防災八十八話 第40話 弟のおかげ

学んだことを地域とともに

福浦小学校 6年 たにぐち 谷口 けいと 桂都

ぼくは、「弟のおかげ」という話を読んで、二つのことを考えました。

一つ目は、ぼくの地域は絶対に津波が来るから、災害のことやひなん訓練で学んだことを地域の人に広げていきたいということです。この前、防災対策課の方といっしょにひなんテントを建てたときに、「知っている人が知らない人に教えなければいけない」ということを学習しました。ひなん訓練などをして知っていることやこれまでに習ったことを、福浦の地域の人にしっかり広げていきたいと思います。

二つ目は、準備をしっかりとし、冷静に考えて行動するということです。例えば、いざというときのために、非常持出袋を買ったり、中身を確認したりして準備をしっかりとしておくことが大切です。そして、実際に津波が来たときには、冷静に行動していきたいと思いました。

ぼくは、この話の弟のように、自分も今まで以上に考えて行動し、地域の人やまわりの人を助けていきたいです。